


ビジネスの視点からみた 実務家が押さえておくべき 商標法のポイントと対応策

2日間

難易度
 中級

～ブランド構築を狙った改正商標法・意匠法を踏まえて～

講師	青木 博通 氏	ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士	
日時	2025年2月13日(木)、14日(金) 13:30～16:30		

- ◆ 商標の実務家が押さえておくべき商標法のポイントを、商標のネーミングから商標の管理まで解説します。
- ◆ 具体的には、商標の種類とネーミング、ビジネスにあった商品・役務の選択、商標の識別性・類似・混同、商標調査の際の注意点、商標出願の際の注意点、最近の拒絶理由の動向、どのように商標を管理していくか、解説します。
- ◆ また、ブランド構築を狙った改正商標法・意匠法により、商標及び意匠の保護範囲が拡張され、オーバーラップが生じています。商標と意匠の侵害判断基準の違いなども解説しながら、両制度をどのように活用したら良いかについても解説します。
- ◆ 2024年に導入されたコンセント制度の留意点についても解説します。
- ◆ ポイントをしぼったパワーポイントによる軽いタッチの解説で、重要項目が、ぐんぐん頭に入る講座となっております。是非ご参加いただきますようお願いいたします。

テキストはPDFで共有させていただきます

【解説内容(予定)】

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 改正商標法、改正意匠法の目的(ブランド構築) 商標制度の考え方の基本(著名商標の保護は厚く) 裁判例からみた問題のあるネーミング 商標のヒエラルヒー <ol style="list-style-type: none"> 強い商標と弱い商標 ハウスマークとプロダクトマーク 商標の種類と選択(文字から音・色彩・内装まで) 企業の色保護等 商標の使用されるマーケット(リアル、インターネット、メタバース) 商品・役務の種類と選択(リアル、インターネット、メタバース) ビジネスの流れと商標保護のタイミング 商標調査の際の注意点 商標の識別性、類似、混同 | <ol style="list-style-type: none"> 商標出願の際の注意点 指定商品を限定しすぎた事例等 意外な拒絶理由(最近の動向) 商標は管理が重要 <ol style="list-style-type: none"> 不使用取消審判対策 不正使用取消審判対策 普通名称化防止 感動を与える商標の復活劇 雉も鳴かすば撃たれまい 商標なのか? 意匠なのか? 商標権の侵害と対応策 著作権表示と商標権侵害 商標の剥離抹消・変更は侵害か(各国比較)等 立体商標と意匠の侵害判断の違い 商標制度を補完する制度(知財ミックスの成功例) コンセント制度の留意点 |
|--|--|

◇この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研修を受講し、所定の申請をすれば、外部機関研修として5単位が認められる予定です。(※zoomにてご参加下さい。アーカイブ視聴は単位認定対象外です。)



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 & アーカイブ配信も実施(各講義翌日から1週間)
 ・聞き逃しても安心! 期間内はなんども。
 ・再生速度を変更可能!